

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	肺非結核性抗酸菌症における病態と起因菌との関連解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：新潟大学医歯学総合病院、東北大学病院、仙台厚生病院、埼玉県立循環器・呼吸器病センター、近畿中央胸部疾患センター、姫路医療センターで、肺非結核性抗酸菌症と診断された症例。</p> <p>対象期間：2005年1月1日～2020年11月30日</p> <p>研究責任者：呼吸器・感染症内科 教授 菊地利明</p>
③概要	<p>肺非結核性抗酸菌症の病気の勢いは患者さんごとに大きく異なります。長期間無治療でも進行しない方もいれば、比較的短期間に病状が進行される方もいらっしゃいます。また肺非結核性抗酸菌症の患者さんの多くは、非結核性抗酸菌による感染症ですが、一部の患者さんでは、非結核性抗酸菌に対するアレルギーを示される方もいらっしゃいます。これらの病気の勢いや病気のタイプを簡単に見分ける方法が今はありません。そのため、肺非結核性抗酸菌症の患者さんの痰や気管支鏡検査で得られた非結核性抗酸菌を分析し、経過が穏やかな人とそうでない人では、あるいは、感染症の人とアレルギーの人では、その患者さんから検出された菌にどのような違いがあるか、を調べます。</p>
④申請番号	2020-0400
⑤研究の目的・意義	肺非結核性抗酸菌症の患者さんから検出された起因菌を詳しく解析し、その患者さんの臨床所見との関連について解明するため。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録に保存されている病歴、血液検査結果、生理機能検査結果、画像検査結果、微生物検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、既往疾患、症状、診察所見、治療内容、治療経過）、血液検査結果、生理機能検査結果、画像検査結果、微生物検査結果
⑨利用の範囲	<p>新潟大学 呼吸器・感染症内科</p> <p>東北大学病院 呼吸器内科</p> <p>仙台厚生病院 呼吸器内科</p> <p>埼玉県立循環器・呼吸器病センター 呼吸器内科</p> <p>近畿中央胸部疾患センター 呼吸器内科</p> <p>姫路医療センター 呼吸器内科</p>

④ 試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授 茂呂寛
④ お問い合わせ先	所属：新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 氏名：菊地 利明 Tel：025-368-9325 E-mail：kokyukansen@med.niigata-u.ac.jp

※使用する際は、これを含む下の文章を全て削除してください。

※オプトアウト書式は、倫理システムの申請画面末尾の添付資料欄に掲載すると共に、
ethics@adm.niigata-u.ac.jpへ原稿をお送りください。ホームページに掲載いたします。